

# 川越 逍遙

染色作家作品展  
染客万来

令和元年9月

19<sup>(木)</sup><sub>日</sub> - 23<sup>(月祝)</sup><sub>日</sub>

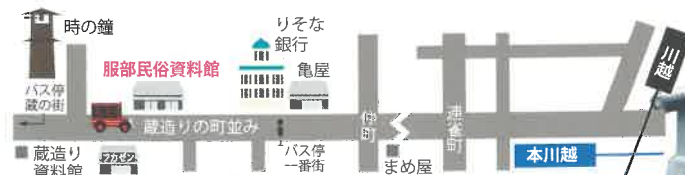
11:00~17:00  
\*最終日は15:00まで

「渡辺新吉 + 染色作家五人展」  
型染め、絞り、筒描など  
色々な作品を展示しております

\*小物等の販売もございます。気軽にお立ち寄りください。

作家連絡先(渡辺) 東京都西東京市芝久保町1-19-61 第一関野荘201号 TEL:090-7634-0613

川越・服部民俗資料館 埼玉県川越市幸町6-8  
TEL: 049-222-0337



川越駅または本川越駅よりバス ●東武バス神明町車庫行きほか、「一番街」下車徒歩1分  
●小江戸巡回バス「蔵の街」下車徒歩3分 ●小江戸名所めぐりバス「一番街」下車徒歩1分



# 川越逍遙く染客万来

都心からも意外と近い！  
ノスタルジックな蔵造りの街に、秋を探しに行きませんか？

## 服部民俗資料館

服部民俗資料館は、小江戸川越の当時を偲ばせる町方民具や年中行事用品などが展示されています。見学無料。

服部家は8代続商家で、元々は照降業（履物や傘の販売）や薬種業（薬の販売など）を営んでいました（屋号：山新）。明治26年に建てられた服部家の建物をそのまま資料館にし、その当時使われていた薬の看板や帳場、下駄や雪駄などの品物を保存・展示されています。また、昭和59年に所蔵民具文書数百点が川越市の文化財に指定されています。

## 作家紹介

### ◆ 渡辺新吉

最近では地域の街興しに興味を持ち、土地とアートの関わり方を模索しています。

今回の展覧会でも『川越逍遙』と名付けた型染絵画シリーズを多数制作しました。

プロフィール：静岡県出身。東京の美術大学卒業後、沖縄への度重なる渡航の末、かの地の工芸、特に染色に惹かれる。1994年より東京の住まいのそばに沖縄の紅型を基調にした染色を行う工房があることを知って、染色～特に型染を学ぶ。絵画表現に染色技法を用いて、制作活動を開始。型染のほか筒描（つつがき）を習得して、二科展、光陽展、新工芸展などに出品。2014年より中井の「染の小道」に毎年出品。

### ◆ 粟津京子（絞り・柿渋染）

“一枚布が好き” そんな布たちはいつも自由に風に舞い喜んでいるかのようです。

### ◆ 石田英子（多種の染布に刺繍コラボ）

『染め見本』&『絞り見本』の長年蓄積されたビッグデータは驚くばかりです。

### ◆ 床井 薫（渦巻き絞り 他）

新しい技法や材料を果敢に取り入れ、誰もが楽しめる染を追求中。

### ◆ 中 恵美子（型染・ろうけつ染）

型染でもろうけつでも、一本の線に魂がこもる、グループの『要』的存在。

### ◆ 三浦由美子（筒描き・ろうけつ染）

パワフルでエネルギー、大胆な大作が次々に生み出されています。

